

(7) 佐古・加茂・加茂名地域

徳島市のほぼ中央部に位置する当地域は、主に山地と平地より構成され、山地は眉山の北斜面に属しています。当地域は眉山、鮎喰川、新町川に囲まれ、中央部には田宮川が流れています。堤内地には住宅地のほか、農耕地が多くみられますが、加茂地区では住宅化が進んでいます。

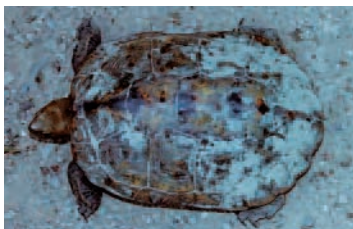
また、当地域の中央部を、東西の幹線道路である国道192号が走り、ここに立地する佐古地区は、事業所や商店が多い市内でも有数の商業地域です。一方、加茂名地区には、遺跡や古墳群などとともに古い町並みが多く残っています。また、眉山のふもとに位置する西部公園は、市の花である桜の名所で、日本の桜名所百選に選定されています。

鮎喰川の下流は汽水域で、干出する砂礫浜には、ヤマトシジミやカニ類など多くの底生動物が生息し、カモ類など水鳥の良好な採餌場となっています。また、吉野川や鮎喰川の高水敷は農耕地に利用され、周辺の草地にはヒメオウギスイセンなどが生育し、ホオジロなどの鳥類、トノサマバッタやキタテハなどの昆虫類のほか、河川敷や水田などの水辺を好むシマヘビやイシガメなどの爬虫類も確認されています。

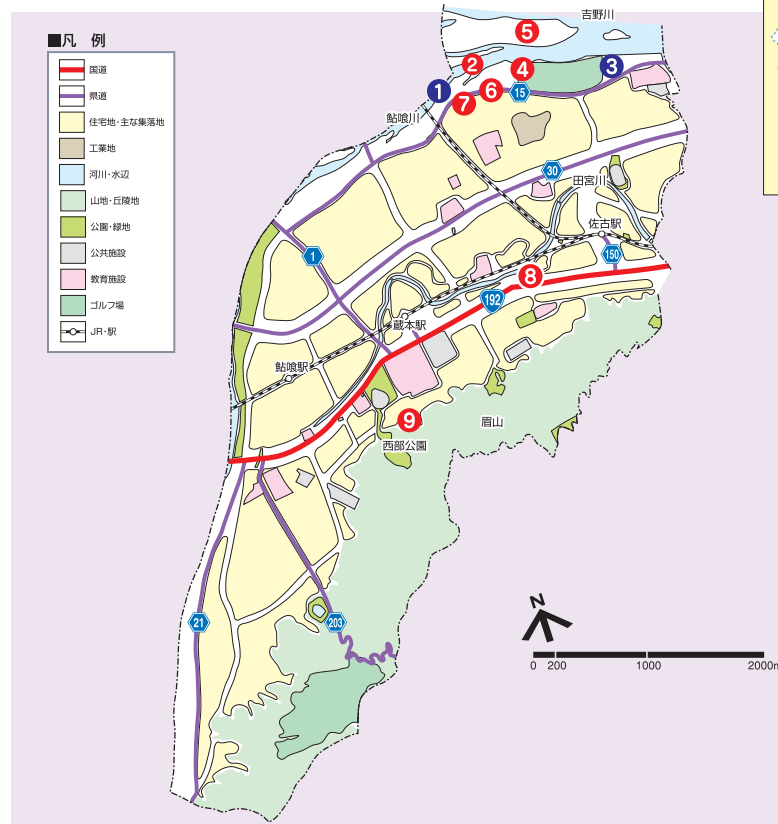
一方、田宮川は生物の生息数が少なく、魚類では水質の汚濁に強いボラがみられます。



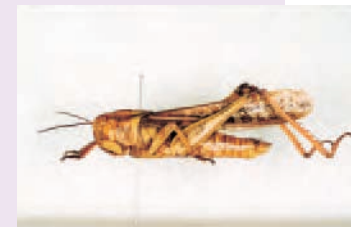
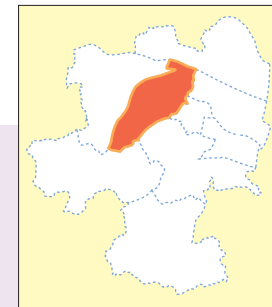
1 鮎喰川下流に干出した砂礫浜



2 河川や周辺の水田を好むイシガメ



3 鮎喰川と吉野川の合流付近の農耕地



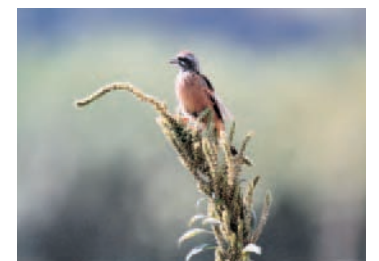
6 乾燥した草地や造成地に生息するトノサマバッタ



8 水の汚れや塩分の変化に強いボラ



4 高水敷に生育する帰化植物のヒメオウギスイセン



5 平地から山地の草原や農耕地、河原などに生息するホオジロ



7 河川敷や農耕地周辺の草地に生息するキタテハ



9 市の花の桜（ソメイヨシノ）